

2021年度 自己評価結果公表シート

2022年3月16日

遊学舎武雄こども園

1. 本園の教育及び保育の目標

1. 基本的生活習慣の確立（すこやかさ）
2. 心身の調和（たくましさ）
3. 社会性の要請（ゆたかさ）

2. 本園の教育方針

- ・遊びから学び、さまざまな体験を通し、生きる力を育てます。
- ・地域や保護者様との信頼関係を築き、喜びを感じながら子育てを共に行います。
- ・研修や自己研鑽に励み常に自らの専門性を高め、法人職員としての責務を果たします。

3. 本年度、重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 教育課程・指導…個人の発達や家庭での現状に応じた保育教育を行う。  
チーム保育による保育教諭の連携。
- 保健管理…園児の健康診断の実施（年2回）、日々の健康観察。
- 資質向上の取組…園内外における研修への参加、報告、実践。
- 子育て支援…一時預かり保育事業の充実による0号支援、子育て講演会の実施、在園児の保護者支援。
- 幼保小連携…円滑な連携・接続。
- 教育環境…施設設備・遊具や教具の安全点検・環境整備。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
教育課程・指導	B	一人ひとりの成長過程を職員間で共有し、それぞれの子どもの良さが引き出される保育ができた。援助が必要な園児にも個別で対応することで、落ち着いて園生活を送ることが可能になり、次年度も継続して対応していきたい。
公開保育	B	職員研修として認定こども園の職員に来園して頂き年に1度の公開保育を行い、職員の意識向上に努めた。
保健管理	B	園医・歯科健康診断は実施済み。尿検査2回実施。毎日、保護者様との連携を欠かさず小さな変化に気づけるよう対応できた。コロナ対策として毎日の消毒や検温等も欠かさず行った。

資質向上の取組	A	コロナ禍にあり、オンライン研修が増えたことで例年より研修の機会が増えた。各自の意識も上がり、研修後の報告もしっかりなされていた。
子育て支援	A	コロナ禍でもあり、制限をしながらの受け入れとなったが0号支援として実施できている。
幼保小連携	C	就学前の年長児（支援が必要な園児）では密な連絡調整ができた。小学校への訪問や参加がコロナ禍のため実施できなかった。
教育環境	A	学校薬剤師による定期検査ができた。

#### 5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	計画や目標を明文化することにより、さらなる全保育教諭が共通理解し「遊びに学ぶ」の理念の元、体験を通し来年度に向けた課題も明確になり、日々の教育・保育につなげていきたい。

#### 6. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
受容共感的教育保育	園児一人一人の意志や思い、声をしっかり聞き、受け止めてもらえているという安心感がある保育を行う。また園児のモデルとなれるような言葉遣いや態度を心がける。
園の組織見直し	新しい組織図に則って職員が自主的に園の課題を発見し、解決策を計画立てて実施できるようにする。
教育保育の具体的取組	本物に触れる体験をより具体化するため、自然科学講師を招き定期的に自然科学に触れる時間をとる。また保護者支援の観点からもフィールドワークを継続して行う。

#### ◎「4, 5」の評価結果の表示方法

A	十分に達成されている
B	達成されている
C	とりくまれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である